

# イデックスオイルレポート ~For a week~

2020/12/4作成 (株)新出光

## 【概況】 <OPEC会合延期でもみ合う展開に>

●27日、利益確定の売りが優勢となり一時44.55ドルまで下落しましたが、その後は石油輸出国機構(OPEC)加盟国と非加盟の主要産油国で構成する OPEC プラスの会合を控え現行の減産規模延長期待や、新型コロナウイルスワクチンの開発進展が引き続き下支え要因となり、下落幅を縮小する展開になりました。ただ、欧米での新型コロナウイルスの新規感染者数の急増が圧迫要因となっています。

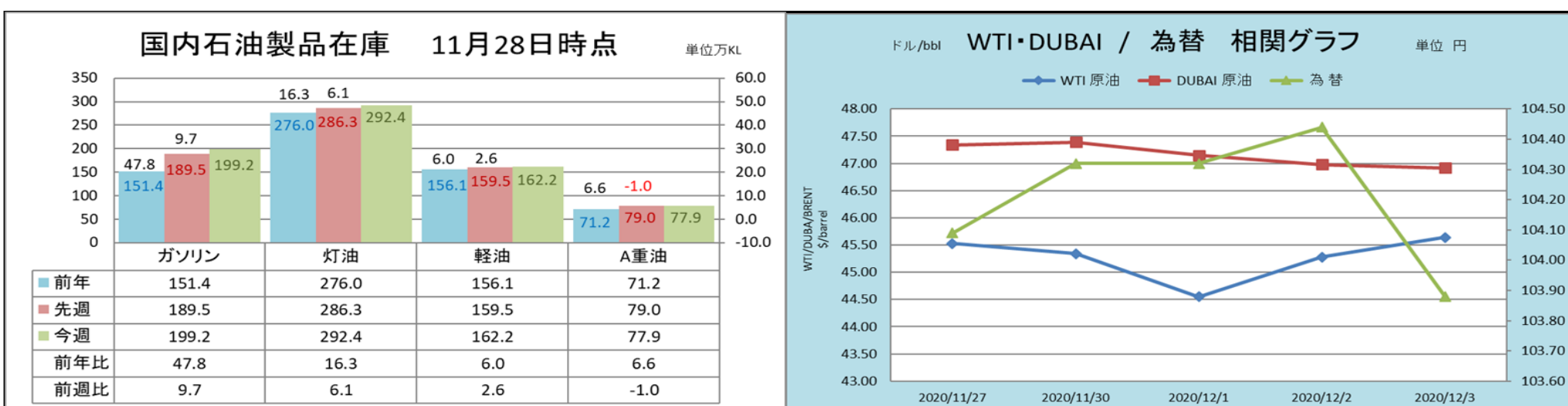
●30日、OPECプラスの会合を控え見送りムードが強まるなか前日に非公式で開催された共同閣僚監視委員会(JMMC)で、来年以降の減産延長について一部産油国が反対し暫定合意が見送られたことを受け、戻り売りが優勢となり一時44.42ドルまで下落しました。その後は安値を買い戻され、45.80ドルまで上昇する場面も見られましたが、再度戻り売りが優勢となりました。

●1日、30日のOPEC総会で現行の減産規模延長についての決定が先送りされたことや、1日に予定されていたOPECプラスの閣僚級会合が3日に延期されたことを受け供給に対する懸念が強まるなか戻り売りが優勢となり下げに転じています。

●2日、新型コロナウイルスのワクチン早期実用化見通しを受け徐々に上昇に転じました。米国の追加経済対策協議の進展を受け上昇幅を拡大する展開となり、一時45.92ドルまで上昇しました。ただ、終盤は米エネルギー情報局(EIA)が発表した週報で原油在庫の減少幅が市場予想を下回ったことや製品在庫が増加したことを受け戻り売りが優勢となり、上昇幅を縮小する展開になったようです。

●3日、OPECプラスが減産規模の縮小を決定したものの、日量50万バレルの増産に留まったことや、米国の追加経済対策の協議進展期待から一時45.84ドルまで上昇しました。ただ、終盤は製薬大手ファイザーが開発した新型コロナウイルスワクチンの初期出荷が当初の目標に届かない見通しだと報じられたことを受け、戻り売り圧力が強まり伸び悩む展開になりました。

12月4日 17:00現在 WTI原油 46.36ドル 為替 1ドル 103.92円



	次回元売変動予測		【製品卸価格】 <次回小幅改定予測に消化売り始まる>
	12/10~	元売変動予測	
ガソリン	→	±0~+0.5	<p>《今週》今週の元売り仕切り改定は「+2.0円」の値上げ改定でした。木曜日分はコスモの改定のズレを利用した玉が残っていたために、市況の上げ幅を抑えていましたが、金曜日分の価格としては、コスモ玉と入れ替わりに月間リンクの仕入れ玉が安値で台頭し、市況形成のディーラーが変化したため、市況の上げが再び抑えられています。</p> <p>《12月5日以降》来週の元売り価格改定は「±0~+0.5円」の小幅変動予測です。次回の改定予測が小幅であることから、週末分では消化売り強めの状況です。12月は年末でのローリー繰りが厳しくなることや工場稼働が最終週を待たずして停止するだろうとの観点から早めの消化に動いているようです。東北や関東周りでは朝晩の気温の低下が見られますが、西日本では、気温の低下が見られず、灯油や重油の出荷が芳しくないことも下げ要因となっています。月間リンクの玉も今が市況の天井であるとみて販売を進めています。足元の原油の動向により、価格の下げ幅としては小幅に留めていることから、まだ本格的な販売には慎重になっている様子が窺えます。</p>
灯油	→	±0~+0.5	
軽油	→	±0~+0.5	
A重油	→	±0~+0.5	
LSA	→	±0~+0.5	

※現段階の原油コストによる予想です

## 【トピック】 <OPECプラス会合決着>

OPECプラス会合では、来年1月から減産緩和実施で合意しました。ただし、当初予想されていた約190万バレルの減産縮小開始を3ヶ月延期ではなく、段階的緩和という妥協案で合意し、まず1月から50万バレルの生産引き上げに留めています。その後は月次で会合し、生産調整について話し合って決定する予定です。結果として、5月から970万バレルの協調減産をしていましたが、その後、減産量を770万バレルにし、来年1月からは720万バレルへと需要の回復とともに徐々に減産幅を縮小してきています。なお、OPECプラス会合ではサウジ石油相が議長を務めず、露石油相が単独で議長を務めたと報じられました。サウジ自らの意思と見られますが、OPEC会合でUAE等が反発し合意形成ができなかったことへの不満が背景にあると予想されます。今後サウジの影響力低下やOPEC内の意見対立が深まれば、月次で検討する減産緩和についても調整が難航する可能性もあり、来月以降も引き続き注目となりそうです。